

特別企画:長崎県内企業メインバンク動向調査 (2022)

十八親和銀行、県内シェア 84.3%

～ 1万3016社 (前年比36社増) がメインバンクとして認識 ～

コロナ禍で疲弊した中小企業への支援が、経営再建や事業承継、取引先の新規開拓など、資金繰りから企業再編・再生へと移ろうなかで、地域金融機関に求められる役割は経営の様々な場面で増している。金融機関によっては実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）などで地域密着型の経営を選択する傾向もあるなか、金利以外の魅力度を高めた金融機関が様々な課題を持つ企業から幅広い支持を得る形となり、今後メインバンクシェアに変化が訪れる可能性がある。

帝国データバンク長崎支店では、2022年10月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約147万社収録、特殊法人・個人事業主含む）をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした。

[注] 本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

調査結果（要旨）

1. 2022年の長崎県内企業のメインバンク社数トップは「十八親和銀行」となった。企業数は1万3016社となり、シェアは84.30%と全都道府県でも最も高いシェアを占めた。2位は「たちばな信金」（513社、シェア3.32%）、3位は「長崎銀行」（441社、シェア2.86%）
2. 業態別にみると、シェアが最も高いのは「地方銀行」で87.71%となり、前年から0.02pt増加した。以下「信用金庫」（5.10%、前年比0.09pt増加）、「第二地方銀行」（2.94%、同0.06pt減）
3. 業種別、売上高規模別、地域別のすべてにおいて「十八親和銀行」がトップシェアを占めた

1. 長崎県内ランキング

2022年の長崎県内企業メインバンク社数トップは「十八親和銀行」となった。同行をメインバンクとする企業数は1万3016社で、前年から36社増加。県内シェアは84.30%となり、シェア率は全都道府県で最も高い。また、2位の「たちばな信金」（513社、シェア3.32%）も前年から12社増加した。3位は「長崎銀行」（441社、シェア2.86%）、4位は「九州ひぜん信金」（262社、シェア1.70%）が続いた。

上位20行庫の顔ぶれに変わりはなく、上位14行庫までは順位の変動はなかったが、「長崎三菱信組」が前年から順位を1つ上げた。

長崎県 メインバンク社数 上位20行庫

順位	金融機関	2022年			2021年			
		社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	十八親和	13,016	84.30%	+0.04	1	12,980	84.26%	▲ 0.18
2	たちばな信金	513	3.32%	+0.07	2	501	3.25%	+0.01
3	長崎	441	2.86%	▲ 0.05	3	449	2.91%	▲ 0.01
4	九州ひぜん信金	262	1.70%	+0.03	4	257	1.67%	+0.03
5	西日本シティ	223	1.44%	▲ 0.02	5	225	1.46%	+0.01
6	佐賀	136	0.88%	▲ 0.01	6	137	0.89%	+0.03
7	福岡	120	0.78%	+0.01	7	118	0.77%	+0.02
8	三菱UFJ	83	0.54%	▲ 0.02	8	87	0.56%	±0.00
9	商工中金	77	0.50%	+0.01	9	75	0.49%	+0.02
10	九州信漁連	64	0.41%	+0.01	10	61	0.40%	+0.40
11	みずほ	44	0.28%	▲ 0.01	11	45	0.29%	±0.00
12	西海みずき信組	42	0.27%	+0.01	12	40	0.26%	+0.01
13	北九州	36	0.23%	▲ 0.01	13	37	0.24%	▲ 0.01
14	長崎県央農協	35	0.23%	±0.00	14	35	0.23%	+0.02
15	▲ 長崎三菱信組	30	0.19%	+0.01	16	27	0.18%	+0.02
16	▼ 福江信組	28	0.18%	▲ 0.01	15	30	0.19%	±0.00
17	▼ 長崎西彼農協	27	0.17%	▲ 0.01	16	27	0.18%	+0.02
18	ゆうちょ	24	0.16%	±0.00	18	24	0.16%	+0.02
19	島原雲仙農協	19	0.12%	±0.00	19	19	0.12%	+0.01
20	ながさき西海農協	16	0.10%	▲ 0.01	20	17	0.11%	+0.01

メインバンク社数 上位 60 行庫

順位	金融機関	2022年			2021年			順位	金融機関	2022年			2021年				
		社数	シェア	前年比	社数	シェア	前年比			社数	シェア	前年比	社数	シェア	前年比		
1	三菱UFJ	95,718	6.53%	▲ 0.11	1	96,511	6.64%	▲ 0.11	31	十六	9,943	0.68%	±0.00	31	9,900	0.68%	±0.00
2	三井住友	76,880	5.25%	▲ 0.08	2	77,437	5.33%	▲ 0.08	32	南都	9,773	0.67%	±0.00	32	9,736	0.67%	±0.00
3	みずほ	61,831	4.22%	▲ 0.06	3	62,291	4.28%	▲ 0.06	33	きらぼし	9,741	0.66%	▲ 0.01	33	9,715	0.67%	±0.00
4	りそな	30,753	2.10%	±0.00	4	30,469	2.10%	+0.01	34	▲ 鹿児島	9,667	0.66%	+0.01	35	9,448	0.65%	+0.01
5	北洋	23,965	1.64%	±0.00	5	23,895	1.64%	▲ 0.03	35	▲ 北国	9,554	0.65%	+0.01	36	9,330	0.64%	+0.01
6	福岡	22,096	1.51%	+0.01	6	21,871	1.50%	+0.02	36	▲ 宮崎	9,519	0.65%	+0.02	37	9,206	0.63%	+0.01
7	千葉	21,422	1.46%	+0.01	7	21,124	1.45%	+0.01	37	▼ 東邦	9,513	0.65%	▲ 0.01	34	9,573	0.66%	±0.00
8	西日本シティ	20,777	1.42%	+0.01	8	20,563	1.41%	+0.01	38	滋賀	9,048	0.62%	±0.00	38	8,945	0.62%	±0.00
9	第四北越	18,068	1.23%	▲ 0.01	9	17,993	1.24%	-	39	百十四	8,463	0.58%	±0.00	39	8,406	0.58%	±0.00
10	埼玉りそな	17,593	1.20%	±0.00	10	17,418	1.20%	+0.00	40	大分	8,417	0.57%	±0.00	40	8,335	0.57%	±0.00
11	静岡	16,730	1.14%	▲ 0.01	11	16,745	1.15%	+0.00	41	▼ 名古屋	8,348	0.57%	±0.00	40	8,335	0.57%	±0.00
12	横浜	16,653	1.14%	+0.01	12	16,387	1.13%	+0.01	42	▲ 京都中央信金	8,050	0.55%	+0.01	44	7,809	0.54%	+0.01
13	広島	16,076	1.10%	±0.00	13	16,046	1.10%	+0.01	43	▼ 大垣共立	7,994	0.55%	+0.01	42	7,883	0.54%	+0.01
14	常陽	15,602	1.06%	▲ 0.01	14	15,500	1.07%	▲ 0.00	44	▼ 佐賀	7,899	0.54%	±0.00	43	7,832	0.54%	±0.00
15	中国	15,254	1.04%	▲ 0.01	15	15,319	1.05%	▲ 0.01	45	武蔵野	7,799	0.53%	±0.00	45	7,731	0.53%	+0.01
16	群馬	15,226	1.04%	▲ 0.01	16	15,198	1.05%	▲ 0.00	46	青森	7,644	0.52%	±0.00	46	7,560	0.52%	±0.00
17	北陸	15,052	1.03%	±0.00	17	14,944	1.03%	+0.00	47	京葉	7,607	0.52%	+0.01	47	7,437	0.51%	+0.01
18	八十二	14,427	0.98%	±0.00	18	14,291	0.98%	+0.02	48	三十三	7,335	0.50%	±0.00	48	7,305	0.50%	-
19	七十七	14,338	0.98%	+0.01	19	14,160	0.97%	+0.00	49	山梨中央	7,286	0.50%	+0.01	49	7,192	0.49%	+0.01
20	十八親和	14,052	0.96%	±0.00	20	14,027	0.96%	▲ 0.00	50	▲ 阿波	7,273	0.50%	+0.01	51	7,073	0.49%	+0.01
21	関西みらい	13,603	0.93%	±0.00	21	13,541	0.93%	▲ 0.00	51	▲ 多摩信金	7,212	0.49%	+0.02	55	6,860	0.47%	±0.00
22	▲ 伊予	13,158	0.90%	▲ 0.01	23	13,162	0.91%	+0.01	52	▼ 琉球	7,209	0.49%	±0.00	50	7,144	0.49%	±0.00
23	▼ 足利	13,141	0.90%	▲ 0.01	22	13,229	0.91%	▲ 0.01	53	▲ 大阪シティ信金	7,021	0.48%	+0.01	54	6,898	0.47%	+0.01
24	肥後	12,443	0.85%	±0.00	24	12,362	0.85%	+0.00	54	▲ 池田泉州	6,995	0.48%	+0.01	57	6,761	0.47%	+0.01
25	京都	11,297	0.77%	±0.00	25	11,128	0.77%	+0.01	55	▲ 横浜信金	6,918	0.47%	+0.01	58	6,721	0.46%	+0.01
26	▲ 山口	10,787	0.74%	+0.01	27	10,597	0.73%	▲ 0.00	56	▼ もみじ	6,910	0.47%	▲ 0.01	52	6,981	0.48%	▲ 0.01
27	▼ 紀陽	10,661	0.73%	±0.00	26	10,665	0.73%	+0.00	57	▼ 福井	6,882	0.47%	±0.00	56	6,836	0.47%	±0.00
28	百五	10,632	0.73%	+0.01	28	10,510	0.72%	+0.01	58	▼ 四国	6,870	0.47%	▲ 0.01	53	6,907	0.48%	+0.01
29	北海道	10,286	0.70%	±0.00	29	10,250	0.70%	▲ 0.01	59	秋田	6,712	0.46%	±0.00	59	6,645	0.46%	±0.00
30	山陰合同	10,101	0.69%	±0.00	30	9,977	0.69%	▲ 0.00	60	▲ みなと	6,671	0.46%	+0.01	62	6,548	0.45%	±0.00

2. 業態別

業態別にみると、シェアが最も高いのは「地方銀行」（シェア 87.71%）となり、他を圧倒した。ただ、「信用金庫」や「信用組合」は3年連続でシェアを増やし、僅かながら「地方銀行」との差は縮まっている。一方、シェアが縮小したのは「第二地方銀行」「都市銀行」「農協」「労働金庫」となった。

調査年	地方銀行	信用金庫	第二 地方銀行	都市銀行	農協	信用組合	政府系 金融機関	漁協	その他の 金融機関	労働金庫	信託銀行	ネット銀行
2019	87.94	4.90	2.98	0.95	0.67	0.65	0.59	0.41	0.25	0.08	0.01	0.02
2020	87.82	4.96	2.99	0.94	0.70	0.69	0.57	0.40	0.25	0.09	0.01	0.01
2021	87.69	5.01	3.00	0.93	0.76	0.71	0.58	0.40	0.26	0.09	0.01	0.01
2022	87.71	5.10	2.94	0.91	0.74	0.73	0.59	0.42	0.26	0.08	0.01	0.01
前年比	+0.02	+0.09	▲ 0.06	▲ 0.02	▲ 0.02	+0.02	+0.01	+0.02	±0.00	▲ 0.01	±0.00	±0.00

3. 業種別

業種別でみると、すべての業種で「十八親和銀行」が1位を独占した。2位は『建設業』『小売業』『サービス業』『不動産業』の4業種で「たちばな信金」、『製造業』『卸売業』の2業種で「長崎銀行」、『運輸・通信業』で「商工中金」、『その他産業』で「九州信漁連」となった。ほとんどの業種で県内に本拠を置く金融機関のシェアが高かった中、『卸売業』では「西日本シティ銀行」が3位に割り込んだ。

建設業					製造業							
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
1	十八親和	3,967	86.16%	▲ 0.11	1	3,972	86.27%	▲ 0.21	1	928	82.78%	+0.14
2	たちばな信金	198	4.30%	+0.06	2	195	4.24%	▲ 0.03	2	34	3.03%	+0.02
3	長崎	162	3.52%	▲ 0.09	3	166	3.61%	+0.06	3	22	1.96%	+0.10
4	九州ひぜん信金	76	1.65%	+0.11	4	71	1.54%	+0.04	4	21	1.87%	▲ 0.08
5	西日本シティ	53	1.15%	±0.00	5	53	1.15%	+0.06	5	20	1.78%	+0.01
6	佐賀	44	0.96%	±0.00	6	44	0.96%	▲ 0.02	6	20	1.78%	+0.01
7	福岡	22	0.48%	+0.07	7	19	0.41%	±0.00	7	16	1.43%	+0.01
8	福江信組	11	0.24%	±0.00	8	11	0.24%	±0.00	8	15	1.25%	▲ 0.08
9	西海みずき信組	10	0.22%	+0.02	9	9	0.20%	+0.05	9	11	0.98%	+0.01
10	長崎三菱信組	7	0.15%	+0.06	15	4	0.09%	+0.02	10	5	0.45%	+0.01

卸売業					小売業							
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
1	十八親和	1,219	84.24%	▲ 0.27	1	1,228	84.51%	▲ 0.46	1	1,764	83.36%	+0.11
2	長崎	34	2.35%	+0.01	2	34	2.34%	▲ 0.02	2	101	4.77%	+0.16
3	西日本シティ	33	2.28%	+0.15	3	31	2.13%	▲ 0.03	3	65	3.07%	▲ 0.03
4	たちばな信金	30	2.07%	▲ 0.06	3	31	2.13%	▲ 0.03	4	55	2.60%	+0.06
5	九州ひぜん信金	24	1.66%	+0.01	5	24	1.65%	+0.03	5	55	2.60%	+0.06
6	福岡	22	1.52%	+0.01	6	22	1.51%	+0.16	6	42	1.98%	▲ 0.14
7	佐賀	21	1.45%	+0.07	7	20	1.38%	+0.10	7	19	0.90%	▲ 0.04
8	三菱UFJ	11	0.76%	±0.00	8	11	0.76%	+0.02	8	12	0.57%	+0.01
9	商工中金	9	0.62%	+0.07	9	8	0.55%	▲ 0.06	9	9	0.43%	▲ 0.04
10	北九州	8	0.55%	±0.00	9	8	0.55%	+0.01	10	6	0.28%	±0.00

運輸・通信業					サービス業							
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
1	十八親和	380	83.52%	+0.36	1	390	83.16%	▲ 0.60	1	3,765	86.77%	+0.19
2	商工中金	17	3.74%	▲ 0.10	2	18	3.84%	+0.46	2	104	2.40%	+0.13
3	長崎	14	3.08%	▲ 0.12	3	15	3.20%	+0.25	3	83	1.91%	▲ 0.10
4	西日本シティ	12	2.64%	▲ 0.13	4	13	2.77%	▲ 0.18	4	58	1.34%	▲ 0.11
5	たちばな信金	8	1.76%	+0.05	5	8	1.71%	▲ 0.19	5	42	0.97%	+0.01
6	九州ひぜん信金	4	0.88%	+0.03	6	4	0.85%	+0.01	6	41	0.94%	▲ 0.04
6	福岡	4	0.88%	+0.03	6	4	0.85%	+0.01	7	25	0.58%	+0.04
8	佐賀	3	0.66%	+0.02	8	3	0.64%	+0.01	8	21	0.48%	▲ 0.06
9	福江信組	2	0.44%	+0.01	10	2	0.43%	+0.01	9	17	0.39%	+0.02
9	三菱UFJ	2	0.44%	▲ 0.20	8	3	0.64%	+0.22	9	17	0.39%	+0.04

不動産業					その他産業							
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
1	十八親和	660	77.56%	+0.07	1	654	77.49%	+0.60	1	333	65.55%	▲ 0.26
2	たちばな信金	41	4.82%	▲ 0.16	2	42	4.98%	▲ 0.13	2	18	3.54%	+0.36
3	長崎	34	4.00%	▲ 0.03	3	34	4.03%	▲ 0.23	3	16	3.15%	+0.17
4	九州ひぜん信金	23	2.70%	+0.33	4	20	2.37%	▲ 0.18	4	15	2.95%	+0.17
5	西日本シティ	20	2.35%	▲ 0.02	4	20	2.37%	+0.42	5	14	2.76%	▲ 0.02
6	福岡	16	1.88%	▲ 0.25	6	18	2.13%	+0.18	6	11	2.17%	▲ 0.02
7	三菱UFJ	11	1.29%	+0.11	7	10	1.18%	▲ 0.28	7	9	1.77%	▲ 0.02
8	佐賀	9	1.06%	+0.11	8	8	0.95%	▲ 0.02	7	9	1.77%	▲ 0.02
9	西海みずき信組	8	0.94%	▲ 0.01	8	8	0.95%	▲ 0.14	9	8	1.57%	▲ 0.22
10	北九州	5	0.59%	+0.12	11	4	0.47%	▲ 0.02	10	6	1.18%	▲ 0.01

4. 売上規模別

売上規模別にみると、すべての規模で「十八親和銀行」が1位となった。2位は『5000万円未満』『5000万-1億円未満』『1-5億円未満』では「たちばな信金」、『5-10億円未満』で「長崎銀行」、『10-50億円未満』で「商工中金」、『50億円以上』で「西日本シティ銀行」となった。売上規模が大きくなるにつれて県外行や都市銀行のシェア率が高くなっている。

5000万円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
		(社)		(pt)		(社)		(pt)		(社)		(pt)		
1	十八親和	5,294	85.02%	+0.17	1	5,403	84.85%	▲ 0.29	1	2,567	86.03%	+0.20		
2	たちばな信金	224	3.60%	+0.07	2	225	3.53%	+0.01	2	110	3.69%	+0.28		
3	長崎	198	3.18%	▲ 0.10	3	209	3.28%	+0.03	3	88	2.95%	▲ 0.26		
4	九州ひぜん信金	130	2.09%	+0.06	4	129	2.03%	+0.14	4	44	1.47%	▲ 0.10		
5	西日本シティ	57	0.92%	▲ 0.01	5	59	0.93%	▲ 0.07	5	39	1.31%	+0.08		
6	佐賀	38	0.61%	+0.04	6	36	0.57%	+0.06	6	23	0.77%	▲ 0.08		
7	三菱UFJ	29	0.47%	+0.01	7	29	0.46%	+0.11	7	20	0.67%	+0.09		
8	長崎県央農協	22	0.35%	▲ 0.04	8	25	0.39%	+0.01	8	9	0.30%	+0.03		
9	九州信漁連	20	0.32%	▲ 0.03	10	22	0.35%	+0.35	9	9	0.30%	▲ 0.04		
9	福岡	20	0.32%	▲ 0.04	9	23	0.36%	+0.06	8	9	0.30%	▲ 0.04		

1-5億円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
		(社)		(pt)		(社)		(pt)		(社)		(pt)		
1	十八親和	3,711	83.88%	▲ 0.14	1	3,648	84.02%	▲ 0.39	1	687	81.49%	▲ 0.99		
2	たちばな信金	154	3.48%	▲ 0.02	2	152	3.50%	+0.01	2	24	2.85%	+0.78		
3	長崎	118	2.67%	+0.02	3	115	2.65%	▲ 0.19	3	23	2.73%	+0.18		
4	西日本シティ	83	1.88%	▲ 0.10	4	86	1.98%	+0.18	4	17	2.02%	+0.20		
5	九州ひぜん信金	76	1.72%	+0.08	5	71	1.64%	▲ 0.03	5	16	1.90%	+0.20		
6	佐賀	50	1.13%	▲ 0.07	6	52	1.20%	+0.01	6	16	1.90%	+0.20		
7	福岡	43	0.97%	▲ 0.04	7	44	1.01%	+0.10	7	13	1.54%	+0.08		
8	商工中金	31	0.70%	▲ 0.01	8	31	0.71%	+0.15	8	9	1.07%	+0.22		
9	九州信漁連	22	0.50%	+0.15	10	15	0.35%	+0.35	9	7	0.83%	▲ 0.26		
10	三菱UFJ	17	0.38%	▲ 0.03	9	18	0.41%	+0.04	10	6	0.71%	▲ 0.26		

10-50億円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比		
		(社)		(pt)		(社)		(pt)		(社)		(pt)		
1	十八親和	544	79.77%	+1.09	1	524	78.68%	▲ 1.04	1	86	64.18%	▲ 0.31		
2	商工中金	16	2.35%	▲ 0.20	3	17	2.55%	+0.01	2	6	4.48%	+0.13		
2	三菱UFJ	16	2.35%	▲ 0.35	2	18	2.70%	+0.45	3	4	2.99%	+0.09		
4	西日本シティ	15	2.20%	▲ 0.20	4	16	2.40%	+0.43	4	4	2.99%	▲ 0.63		
5	福岡	14	2.05%	▲ 0.20	5	15	2.25%	±0.00	5	3	2.24%	▲ 0.66		
6	みずほ	11	1.61%	+0.26	7	9	1.35%	▲ 0.20	6	2	1.49%	+0.04		
7	長崎	10	1.47%	▲ 0.33	6	12	1.80%	▲ 0.03	6	2	1.49%	+0.77		
8	九州信漁連	8	1.17%	+0.27	11	6	0.90%	+0.90	8	1	0.75%	▲ 0.70		
8	佐賀	8	1.17%	▲ 0.18	7	9	1.35%	▲ 0.06	8	2	1.45%	+0.12		
10	たちばな信金	7	1.03%	▲ 0.02	9	7	1.05%	+0.06	8	1	0.72%	+0.05		

5. 地域別

長崎県内の地域別ランキングは、すべての地区で「十八親和銀行」がトップとなった。「長崎銀行」が長崎エリアと島原エリアで2位。「たちばな信金」は本店を置く県央エリアで2位、長崎エリア、島原エリアで3位となったほか、五島エリアや壱岐エリアでは地元金融機関がランクインし、強みを見せた。一方、県北エリアでは「九州ひぜん信金」が2位、「佐賀銀行」が3位と、佐賀県の金融機関がランクインした。

県内エリア別 金融機関シェアランキング

市郡	1位	2位	3位
長崎エリア	十八親和	長崎	たちばな信金
県北エリア	十八親和	九州ひぜん信金	佐賀
県央エリア	十八親和	たちばな信金	九州ひぜん信金
島原エリア	十八親和	長崎	たちばな信金
五島エリア	十八親和	福江信組	ごとう農協
壱岐エリア	十八親和	壱岐市農協	九州信漁連
対馬エリア	十八親和	九州信漁連	西日本シティ

※エリア区分は次のとおり

長崎エリア：長崎市、西彼杵郡 **県北エリア**：佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、北松浦郡、東彼杵郡 **県央エリア**：諫早市、大村市 **島原エリア**：島原市、雲仙市、南島原市 **五島エリア**：五島市、南松浦郡 **壱岐エリア**：壱岐市 **対馬エリア**：対馬市

全国で1行が単独過半数のシェアを有する都道府県は合計20に上り、前年に比べ変化はなかった。ただ、既に経営統合が発表されている青森県（青森銀行+みちのく銀行：シェア70.51%）、福井県（福井銀行+福邦銀行：同55.12%）を加えると、単独過半数シェアの都道府県は計22となる。

都道府県別 金融機関シェア（トップ）

都道府県	金融機関	2022年			2021年		
		社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
北海道	北洋	23,853	35.06%	+0.02	23,784	35.04%	▲0.17
青森県	青森	7,472	42.60%	+0.22	7,388	42.38%	+0.34
岩手県	岩手	6,058	43.24%	+0.04	6,003	43.20%	+0.11
宮城県	七十七	13,761	56.06%	+0.12	13,591	55.94%	▲0.13
秋田県	秋田	6,238	52.75%	+0.16	6,168	52.59%	+0.19
山形県	山形	5,670	34.29%	▲0.07	5,664	34.36%	+0.10
福島県	東邦	9,167	40.29%	▲0.09	9,230	40.38%	▲0.32
茨城県	常陽	13,611	47.77%	▲0.03	13,467	47.80%	▲0.03
栃木県	足利	10,002	46.63%	▲0.13	10,083	46.76%	▲0.09
群馬県	群馬	12,275	46.06%	▲0.22	12,249	46.28%	▲0.24
埼玉県	埼玉りそな	16,874	27.28%	+0.02	16,711	27.26%	+0.04
千葉県	千葉	20,237	39.73%	▲0.08	20,021	39.81%	▲0.13
東京都	三菱UFJ	41,475	21.08%	▲0.16	41,831	21.24%	▲0.18
神奈川県	横浜	15,222	20.36%	▲0.21	14,952	20.57%	▲0.07
新潟県	第四北越	17,634	56.43%	▲0.07	17,537	56.50%	-
富山県	北陸	7,588	47.46%	+0.16	7,480	47.30%	+0.10
石川県	北国	8,457	52.75%	+0.27	8,268	52.48%	+0.16
福井県	福井	6,431	45.80%	+0.14	6,383	45.66%	+0.21
山梨県	山梨中央	6,825	53.77%	▲0.07	6,745	53.84%	+0.22
長野県	八十二	13,716	53.35%	+0.06	13,576	53.29%	+0.23
岐阜県	十六	7,071	31.16%	▲0.31	7,030	31.47%	▲0.08
静岡県	静岡	15,605	36.39%	▲0.09	15,590	36.48%	▲0.10
愛知県	三菱UFJ	14,970	20.09%	▲0.25	15,145	20.34%	▲0.30
三重県	百五	9,956	45.52%	+0.18	9,833	45.34%	+0.01
滋賀県	滋賀	8,026	58.94%	▲0.08	7,934	59.02%	▲0.12
京都府	京都	9,561	31.79%	▲0.21	9,490	32.00%	▲0.08
大阪府	三井住友	18,006	16.99%	▲0.35	18,228	17.34%	▲0.16
兵庫県	三井住友	9,975	19.30%	▲0.31	10,006	19.61%	▲0.20
奈良県	南都	8,023	61.20%	▲0.30	8,028	61.50%	▲0.20
和歌山県	紀陽	7,906	63.52%	▲0.21	7,977	63.73%	▲0.12
鳥取県	山陰合同	3,632	48.52%	+0.18	3,576	48.34%	▲0.30
島根県	山陰合同	5,828	61.97%	+0.05	5,759	61.92%	▲0.09
岡山県	中国	11,113	46.61%	▲0.39	11,152	47.00%	▲0.21
広島県	広島	14,652	37.46%	+0.08	14,605	37.38%	+0.12
山口県	山口	10,152	59.56%	+0.01	9,956	59.55%	▲0.15
徳島県	阿波	6,246	57.48%	▲0.18	6,074	57.66%	▲0.06
香川県	百十四	6,866	46.22%	▲0.58	6,794	46.80%	▲0.03
愛媛県	伊予	11,365	60.28%	▲0.06	11,364	60.34%	+0.07
高知県	四国	4,831	50.10%	+0.04	4,851	50.06%	+0.45
福岡県	福岡	20,987	35.41%	+0.04	20,783	35.37%	+0.10
佐賀県	佐賀	6,340	53.03%	▲0.48	6,294	53.51%	▲0.31
長崎県	十八親和	13,016	84.30%	+0.04	12,980	84.26%	▲0.18
熊本県	肥後	12,226	58.47%	▲0.12	12,145	58.59%	▲0.16
大分県	大分	8,132	51.08%	+0.08	8,047	51.00%	▲0.01
宮崎県	宮崎	9,156	60.02%	+0.58	8,851	59.44%	+0.37
鹿児島県	鹿児島	8,906	50.96%	+0.48	8,717	50.48%	+0.31
沖縄県	琉球	7,183	42.00%	▲0.11	7,120	42.11%	±0.00

[注] 第四北越（新潟）は、2021年に経営統合したため、2020-21年調査との比較は行っていない

4. 今後の見通し

長崎県内の企業のメインバンクは、「十八親和銀行」が 84.30%（前年比 0.04pt 増加）とトップシェアを独占。次いで、「たちばな信金」「長崎銀行」が続く構図に変化はなかった。ただ、地域別でみると、県央・五島・壱岐エリアは地元金融機関が強さをみせたほか、県北エリアでは佐賀県の金融機関が一定数のシェアを保持していることがうかがえた。

地域金融機関は、中小企業の事業承継問題やデジタル変革（DX）、脱炭素対応など前向きな資金需要に加え、コロナ融資などで過大な債務を背負った中小企業の事業再生を支援する役割も求められるようになり、低金利貸出以外のニーズにも対応可能な経営基盤の強化を迫られている。今後は、営業エリアの重複解消や店舗・人員など組織のスリム化に向け、「経営統合」という、さらに一歩踏み込んだ対応を取る地域金融機関が増える可能性がある。

相次ぐ経営統合や、トップ行による寡占化などは、「借り手」からは手数料の引き上げや店舗整理に伴う利便性悪化、競争低下による融資への悪影響を心配する声も少なくない。一方、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など利便性の高い決済機能面を強みに、ネット銀行が店舗型金融機関の新たな受け皿となりつつあるほか、他地域から越境してサービスを提供する金融機関も多く、金融機関の選択肢は以前に比べ増えている。コロナ禍における地方経済下支えが至上命題となる地域金融機関では、経営統合や事業・資本提携などの形に捉われることなく、融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援を持続的に展開できる経営基盤の強化が、引き続き求められる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 長崎支店 担当：四谷 章頌
TEL:095-826-9204 FAX:095-824-8629

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。